

昭和41年度 和歌山県文化賞

お がわ よし いち
小 川 由 一

住 所：和歌山県那賀郡岩出町

出 身 地：和歌山県那賀郡岩出町

生 年：明治22年

■ 職業

大学教官・植物学者

◎業績及び経歴

明治43年和歌山県師範学校卒業後文検に合格、岩出小学校をふり出しに教職にあること実に55年余、その間県立和高女、和歌山女専、信愛女子短大附高教官を歴任し、昭和36年信愛女子短大教授となり今日まで女子教育に貢献すること49年、人格高潔にして豊かな識見と熱心なる研究心をもって生徒を感化すること実に大きなものがある。

氏は教職のかたわら独学で植物研究と取り組み、特に植物分類学、同生態学を専門とし、植物分野より眺めた民俗等において深い研究を積み、これらの研究を通して科学教育の振興に寄与したところ実に大きく、生徒に対する影響力はいうに及ばず、県下幼、小、中、高教員に対する指導力大きく、現在も和歌山県生物同好会会長として活躍と研究を続けている。

研究成果として「高野山の植物」「紀伊友ヶ島植物誌」「紀伊高野山植物誌」「紀伊小口郷植物誌」

「同続篇」「同続々篇」「紀伊竜神郷植物誌」等があり、うち6冊は天皇陛下に献上、採集植物中新種としてソハヤキミズ、カツラギスミレ、ヒノミサキギク等多数発見、学名には小川の名を冠せられたものもある。

なお昭和37年には生物研究に関し天皇陛下にご説明、標本献上をおこない、更に昭和39年には本県産イワタバコの毛について天皇陛下より下問を拝し、調査結果を奉答している。